

関係各位

松戸市医師会会長 川越 正平  
在宅ケア委員会担当理事 星野 大和

### 糖尿病診療に役立つ多機関連携研修会開催のご案内

～「生活習慣病管理料」や「診療情報等連携共有料」の算定を通じて他機関の情報を診療に活かす～

時下 皆様におかれましては益々ご清栄のことと存じます。

松戸市医師会は、令和4年度より「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業の一部委託を松戸市から受けています。本事業は、後期高齢者の医療レセプト・健診データ・介護保険情報が突合された、市が有する国保データベースを基に抽出した「リスクを有する高齢者」に対し、保健指導を行う事業です。

糖尿病診断歴があるか健診でHbA1cが高値であり、内科の未受診・受診中断や尿蛋白陽性などの条件に該当する対象者に、松戸市在宅医療・介護連携支援センターの保健師や管理栄養士が担当する形で事業を進めています。事業を通じて、3大合併症の早期覚知に課題がある、認知症や骨粗鬆症が未診断、生活習慣に影響する本人以外の要因があるなど「リスクを有する糖尿病高齢者」に対して指導を行う経験を重ねています。

事業を通じて得た知見は、**糖尿病患者が有する課題として把握に努めることで、生活指導や治療方針立案、受診勧奨に役立つ**という手応えを感じており、研修会を企画しました。

多くの皆様にご参加いただけますようご案内申し上げます。

日 時	令和6年5月21日（火）午後7時から9時
参加方法	会場参加（衛生会館）またはZoomビデオウェビナー *会場参加には事前申し込みが必要です（先着30名まで）
対 象	医師会員、医療・介護・福祉に従事する専門職、行政等
内 容	①「生活習慣病管理料(Ⅱ)」(新設)、「診療情報連携等共有料」(改定)の説明 ②事例提示、③内科医、眼科医、歯科医、薬剤師、行政保健師等によるディスカッション
申込期日	令和6年5月10日（金）
申込方法	右QRコードを読み取り申込フォームよりご登録いただくか 松戸市在宅医療・介護連携支援センターのホームページからお申込み下さい。



※個人での申込が必要です。団体での申込はできません。

※携帯会社のキャリアメール (@docomo.ne.jp など) には  
当方からの返信メールが届かない場合があります。

必ず (@matsudo-zaitaku.org) からのメールを受信できるように設定してください。

【お問合せ】 ※平日 午前9時から午後5時

事務局 松戸市在宅医療・介護連携支援センター  
電話 047-701-7123 FAX 047-701-7535  
担当 フレイル予防事業担当者

\*松戸市医師会として、かかりつけ医が果たす診療内容の向上や相互研鑽を目的とする研修会を継続して企画していきたいと考えております。

## 事業で経験した「リスクを有する糖尿病高齢者」の例

**糖尿病罹病歴 8 年で eGFR が 60 mL/分/1.73m<sup>2</sup> である眼科未受診の 77 歳男性**  
～罹病期間における 3 大合併症の発症時期も考慮して網膜症の早期の診断治療につなぐ～

**健診で尿蛋白陽性かつ eGFR が 76 mL/分/1.73m<sup>2</sup> である糖尿病治療中の 76 歳男性**  
～健診データの活用や微量アルブミン尿の測定により早期腎症を把握する～

**糖尿病コントロール不良で残歯 7 本の 76 歳男性**  
～病態が相互に関連する歯周病の治療経過が糖尿病の改善/増悪に影響を及ぼす～

**糖尿病網膜症で眼科に通院していたが内科は受診中断となった 77 歳女性**  
～行政保健師の指導で中断 9 か月後に内科受診し経口血糖降下薬 4 剤が順次再開された～

**歯周病があり歯科に毎月受診していたが糖尿病は未診断の 78 歳女性**  
～内科受診勧奨ができる存在としての歯科医師や薬剤師への期待～

**直近 1 年で HbA1c が 2% 上昇した糖尿病・高血圧治療中の 77 歳男性**  
～糖尿病罹病歴 11 年でポリファーマシーに該当し認知症が疑われる～

**喫煙習慣があり HbA1c の低下とともに体重が 4kg 減少した BMI 22.1 kg/m<sup>2</sup> の 77 歳男性**  
～DM ではなく、慢性呼吸不全が今後の QOL や予後を規定する恐れがある～

**糖尿病罹病歴が 20 年以上あり 40 代の頃と比べ身長が 4cm 縮んだ 76 歳男性**  
～複数のリスクを持ち、多疾病が併存している男性患者を診療する際の留意点とは～

**妻の体調不良により糖尿病コントロールが悪化した 76 歳男性**  
～保健指導にあたり食材の入手手段や調理能力、経済的事情をも把握したい～

研修会ではこのような事例から得た知見を共有し議論を深める準備を進めています